

2017年7月31日

東急不動産株式会社
株式会社学生情報センター

“学生レジデンス開発事業” 東海圏初展開 「(仮称)広路町学生マンション」 着工

東急不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:大隈 郁仁)と株式会社学生情報センター(本社:京都府京都市、社長:吉浦 勝博)は、愛知県名古屋市昭和区広路町に東急不動産を事業主とし、学生情報センターが管理運営を行う「(仮称)広路町学生マンション」を2017年7月31日に着工しましたので、お知らせいたします

なお、本物件は、東急不動産の学生レジデンス事業における東海圏初となる物件であり、工事を北和建設株式会社(本社:京都府京都市、社長:松尾 隆広)に、竣工後の管理運営を学生情報センターが担い、東急不動産ホールディングスグループ3社による開発事業となっています。

東急不動産は、女性の進学率向上、留学生の増加、大学院進学者数増加等に伴う在学期間の長期化等を背景に、底堅いニーズがあると判断し、昨年、学生レジデンス開発事業に事業参入いたしました。今後、首都圏だけでなく、東海圏、関西圏においても学生レジデンス開発事業を推進してまいります。

■「(仮称)広路町学生マンション」について

本物件は文教地区に近接し、周辺には、名古屋大学をはじめ、中京大学、南山大学、名城大学等の教育施設や研究施設、文化施設が多数集積しています。八事興正寺を中心に、緑が多く豊かな自然環境が広がり、閑静な邸宅が立ち並ぶ、住環境に優れたエリアとなっています。都心へのアクセスもよ



完成予想図

く、八事駅から栄駅までも25分以内と利便性が高く学生に人気のエリアです。構造は壁式鉄筋コンクリート造を採用し、遮音性に優れ、1階の住戸のバルコニーには防犯シャッターを完備するなど、セキュリティにも配慮した設計としています。本物件では約26㎡(1R)の住戸を60室用意し、学生に貸し出す予定です。

東急不動産は学生レジデンス、賃貸マンション、分譲マンション、シニア住宅の開発および運営に携わることとなり、学生レジデンスのみならず、多様なライフスタイル、ライフタイムに合った住宅サービスの提供が可能になります。また、株式会社学生情報センターが2016年11月にグループ会社となったことで、学生レジデンスの開発・物件買収・リノベーション・運営をグループ体で行うことも可能となりました。

■学生情報センターによる管理運営

学生情報センターは、本社を京都に置き、仙台から福岡まで全国11都府県に26店舗を擁し、41,000室の学生マンションや学校寮等学校施設の企画・開発から管理運営までトータルに手掛けています。学生の住まいのサポートだけでなく、学生ボランティア支援、アルバイト紹介、有給インターンシップの提供等を通じて学生生活全般を支援しています。本物件の管理運営が加わることで、名古屋地域での当社管理の学生マンションは、100棟、約4,200室となります。

今後、東急不動産ホールディングスのリソースを最大限活用し、規模問わず多様なニーズに対応できる開発はじめサービスを進めてまいります。

■物件概要

所在地	愛知県名古屋市昭和区広路町字石坂36番3(地番)
交通	市営地下鉄鶴舞線・名城線「八事」駅 徒歩6分
階数	地上4階、
敷地面積	1,049.69㎡
延床面積	1,842.27㎡
構造	壁式鉄筋コンクリート造
用途	共同住宅
戸数	60戸(予定)
設計	中日設計株式会社
施工	北和建設株式会社
スケジュール	着工 2017年7月 竣工 2018年3月(予定)

■位置図

